

## INFORMATION

# 橋下 徹弁護士も来場!! 2007同窓会のご案内

日 時 2007年10月13日(土) 17:30~  
会 場 ホテルオークラ札幌(札幌市中央区南1条西5丁目)  
会 費 5,000円

今回は「行列の出来る法律相談所」などをはじめテレビでもお馴染みの橋下弁護士をゲストに向かえ、軽妙なトークとともに親睦を深める楽しい時間を用意。  
同窓生のみなさん、ぜひご参加ください! お待ちしています。

**橋下 徹 Toru Hashimoto**  
1969年東京出身。早稲田大学卒業後、94年司法試験合格。98年には橋下綜合法律事務所を開設。弁護士として活躍する傍ら、テレビのコメンティターとしても人気。高校時代にはラグビー・高校日本代表候補にも選出されたとか。



## SEIKA ACTIVITY

### 平成18年度会計収支明細表

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
繰越金	63,458,490	(1)事務費	7,067,057
入会金	225,000	報酬費	706,650
同窓会収入	289,000	事務用品費	4,206,974
預金利息	26,535	通信費	1,975,604
合 計	63,999,025	交通費	151,210
		銀行手数料	26,619
賃借対照表		(2)会議費	1,907,459
資産の部 借 方		幹事会役員会費	1,907,459
預金	51,297,639	(3)事業費	3,726,518
合 計	51,297,639	会報発行費	357,000
負債の部 貸 方		慶弔費	260,200
		名簿管理費	82,068
次年度繰越金	51,297,639	卒業記念費	1,517,000
合 計	51,297,639	奨学金	500,000
		学生支援金	1,000,000
		宣伝広告費	10,250
		(4)雑費	352
		(5)次年度繰越金	51,297,639
		合 計	63,999,025

### 同窓会活動報告

2006年4月~2007年3月

平成18年度

- 4月 8日 役員会
- 5月 15日 幹事会
- 6月 17日 役員会
- 6月25日 清麗祭(大学祭)
- 7月 8日 役員会
- 7月20日 名簿打合せ
- 8月 3日 名簿打合せ
- 8月19日 役員会
- 9月 9日 名簿打合せ
- 9月17日 役員会
- 10月14日 広報誌発送
- 11月10日 総会打合せ
- 11月12日 役員会
- 11月18日 総会・懇親会
- 11月28日 役員会

### 新役員紹介



副会長 柳本 朋子

この度、静華会副会長を努めさせていただきます。短大第4期生の柳本です。微力ではありますか、静華会と母校の益々の発展のため、同窓会活動を行って参ります。よろしくお願いいたします。



会計監査 金子 篤史

この度、会計監査をやさせて頂くことになりました。男女共学1期生という事もあり、学生時代から大学で様々な活動を行ってきました。よろしく卒業生同士が繋がれる様、微力ながら力を注いで参ります。宜しくお願いします。

### 【学科】

#### 生活科学科

#### 柳本 朋子(旧姓 奥野) 短大 4期

#### 幼児教育学科

#### 荒谷 啓子(旧姓 長谷川) 短大 5期

#### 教養学科

#### 永井 啓子(旧姓 岩波) 短大 10期

#### 秘書学科

#### 中納 里奈(旧姓 奥) 短大 21期

#### 英語学科

#### 柴崎ルミ子(旧姓 富田) 短大 22期

#### 国際文化学科

#### 成田美智子(旧姓 奥野) 大学 1期

#### 社会学科

#### 増田 里絵(旧姓 熊谷) 大学 1期

#### 観光学科

#### 金子 篤史 大学 7期

### 【役員一覧】

#### 【会本部】

#### 会長

#### 荒谷 啓子

#### 副会長

#### 柳本 朋子

#### 副会長

#### 田中 祥子

#### 副会長

#### 永井 啓子

#### 副会長

#### 片桐 亜矢子

#### 副会長

#### 磯谷 真美

#### 副会長

#### 金子 篤史

#### 副会長

#### 若生 喜実

#### 【会支部】

#### 東京支部長

#### 森賀 仁子(旧姓 横山)

#### 短大 1期

#### 大阪支部長

#### 皆木 洋子(旧姓 十島)

#### 短大 2期

#### 函館支部長

#### 松崎 真理

#### 短大 4期

#### 帯広支部長

#### 佐藤みゆき

#### 短大 7期

#### 釧路支部長

#### 中納 里奈(旧姓 奥)

#### 短大 21期

### 【新役員紹介】

#### 会計監査 若生 喜実

皆様はじめました。

この度、静華会の会計監査をやらせて頂く事になりました。若生です。

私は在学中、学生活動なんて事は一切やったこともなく、静華会の存在を去年知りました。そんな私がこんなところに文章を書いて

いるというのなんとも不思議ですが、絶対ここに居る以上、精一杯頑張りたいと思います。

多分私のように静華会を知らない人は多いと思います。そんなOB・OGの方々、そして現在の在学生の皆さんにも広く認知してもらえる

ような活動をしていきたいです。

よろしくお願いします。

### 副会長 柳本 朋子

この度、会計監査をやらせて頂くことになりました。男女共学1期生の柳本です。微力ではありませんが、静華会と母校の益々の発展のため、同窓会活動を行って参ります。よろしくお願いします。

### 会計監査 金子 篤史

この度、会計監査をやらせて頂くことになりました。男女共学1期生の金子です。柳本と並んで、静華会と母校の益々の発展のため、同窓会活動を行って参ります。よろしくお願いします。



### 合唱団

私たち合唱団は、33年目を迎える歴史ある部活です。5名という少ない人数でありながらも、OGや先生など多くの方々に支えられて今まで活動してきました。33回目の演奏会では、この少人数を活かしたものにしようと計画中です。ご期待ください。

### 第33回札幌国際大学合唱団定期演奏会のご案内

※2008年3月ごろ開催の予定です。  
決定次第、同窓会ホームページにて発表いたします。

### 第16回定期演奏会のご案内

※決定次第、同窓会ホームページにて発表いたします。

### 第15回定期演奏会のご案内

※2008年1月11日(金) 開場18:00 開演18:30

### 会 場 札幌コンサートホールKitara小ホール

入場料 500円

お問い合わせ 札幌国際大学 河本研究室(011-881-6549)

### ハンドベルクワイア

ハンドベルは温かい心の交流を大切にする楽器です。一人ひとりが奏でる数個のベルが重なり合って織り出される「天使の音色」は耳を傾けて下さる人々へのメッセージです。部員一同、心よりお待ちしております。

### 第16回定期演奏会のご案内

※2008年2月17日(日) 開場17:00 開演17:30

### 会 場 札幌共済ホール

入場料 前売り1,000円 当日1,200円

お問い合わせ 札幌国際大学 林研究室(011-881-6545)

お 願 い

①住所の変更  
②電話番号の変更  
③姓名の改姓

上記の場合、同窓会事務局までご連絡をお願いします。

〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4番1号

札幌国際大学内 静華会 行

\*個人情報保護のため、必ず「静華会行」と明記してください。

静華会は、同窓会の個人情報を厳重に取り扱い、適正な管理を行います。ご提供いただいた情報は、同窓会会員の管理および同窓会の運営、同窓会組織の交流活性化に役立てる目的で使用します。

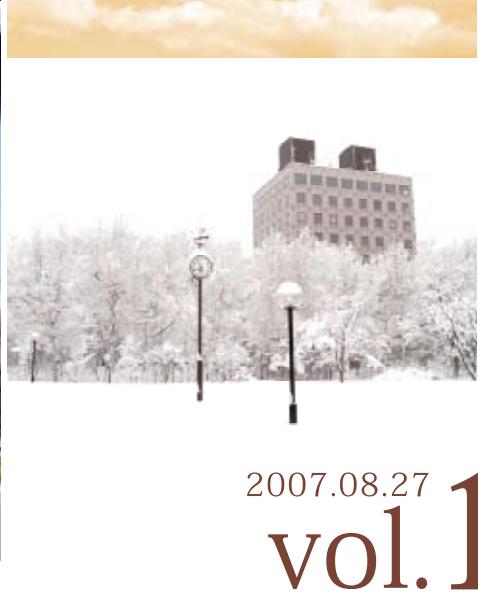
STAFF Editor:片桐亜矢子 Ayako Katajiri(大学1期)

## 札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部 同窓会報誌

靜華



[ SEIKA ]



[ SEIKA ]

2007.08.27  
vol.10

札幌国際大学  
札幌国際大学短期大学部  
学長 小山 忠弘

同窓生の皆様方には健やかにお過ごしのことと存じます。私は本年4月、短期大学第9代目、大学第3代目の学長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願い致します。本学は札幌静修短期大学、静修短期大学、静修女子大学、札幌国際大学と時代の変化と社会の要請に応じて校名が変わりましたが、

# TOPICS



## 2006 同窓会

平成18年11月18日 ホテルオークラ札幌

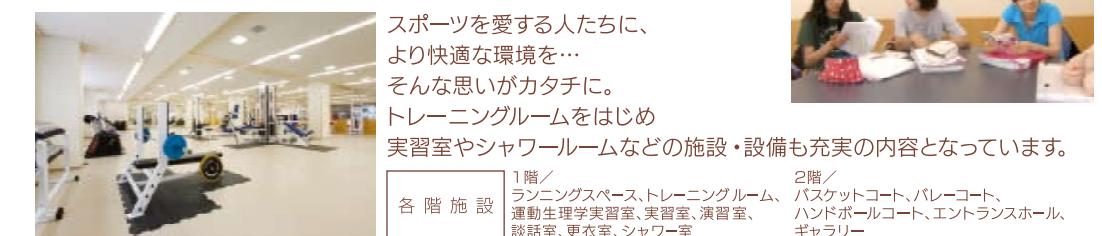
昨年も恒例の同窓会が開催され、例年同様たくさんの中窓生が参加。また、お世話になった恩師の方々も多数出席くださいり、現役学生によるYOSAKOIやチアリーディング、吹奏楽などのステージも華やかに催されました。

予定 東京支部会開催  
日時: 2008年6月14日(土)13:00~  
会場: ホテルオークラ東京



## CAMPUS NEWS

充実の施設・設備を整えた新体育館が誕生しました。



## 教育現場で活躍する卒業生特集

学校法人 池上学院  
池上学院高等学校 教諭  
**佐々木 成さん**  
平成18年札幌国際大学  
人文・社会学部社会学科卒業



学校法人 帯広みどり学園  
帯広ひまわり幼稚園  
帯広第二ひまわり幼稚園 園長  
**佐藤 みゆきさん**  
昭和52年札幌修短期大学 幼児教育学科卒業



親業訓練シニアインストラクター／  
札幌国際大学・短期大学部 非常勤講師  
**高橋 美恵子さん**  
昭和53年札幌静修短期大学 生活学科卒業



札幌市立美しが丘小学校 教諭  
**三浦 輝美さん**  
平成59年 札幌静修短期大学  
児童教育初等学科卒業



## Message from Teacher



元短期大学部  
幼稚教育保育学科 教授  
館 圭子先生

オペレッタと…。  
昭和53年から平成19年3月までの29年間、幼稚教育保育学科に所属し、その間3500名もの学生と共に勉学に励んでまいりました。今思いますと、本当に楽しい、充実した生活を送ったものと満足しております。これは、素直で常に前向きの姿勢で勉学にあたる学生に恵まれたことが、最大の理由と思い、深く感謝しております。

特に、オペレッタの公演は忘れることが出来ません。それまで自主ゼミであったオペレッタが、授業でのオペレッタに移行し、全員が取り組むことになりました。すなわち、従来の方法では対応できなくなったのです。そのような時、全員で話し合い工夫し、アイデアを出し合って切磋琢磨し、日々の障害を乗り越えたものです。このことは、私にとっても貴重な経験となりました。この時の皆さんの姿勢や体験が、毎年後輩に順次引き継がれていく、いつのまにか伝統となり以後15年もの間、困難に陥ったときに、情熱と真摯に問題に取り組む姿勢で乗り切って来られた原動力となったのです。

公演終了時に、感動で涙を流したことを時々思い出します。自ら感動する者のみが、他のものに感動を与えることが出来るのです。生涯の糧となる貴重な体験だったと思います。

多くの卒業生は、自分の子育てや他の子さんの保育に日夜励んでおられることでしょうが、オペレッタの制作をはじめ、大学で学んだことや体験は情熱をもってことにあたる時、きっと役立っているものと思います。



人文学部 心理学科 教授  
川俣 甲子夫先生

《夜》の香り

初夏、早朝に正門の坂道を上ってくると、杉の生垣が香ります。そして、6講目の授業が終わると、キャンパスは明かりが落とされ、暗闇と薄明かりのなんとも幽玄な雰囲気に満たされます。とくに、総合情報館(LIM)と記したほうが判りやすいかもしれませんね)の3階には、妖艶ともいえる雰囲気が漂います。

この階には《エンゼル・トランペット》が置かれているのです。この植物には毒があります。そのせいか昼の喧騒の中ではひそりと身を潜めているのですが、周囲に闇が忍び寄り、学生の姿が消えると、その甘い香りを漂わせます。

最近になり、大学院の夜間の授業が始まることで発掘された、新しい札幌国際大学の香りです。



現代社会学部 マスコミュニケーション学科 教授  
武井 昭也先生

同窓生のみなさんへ

卒業生のみなさん、お元気ですか。私は本学に奉職して12年目になりました。この12年間で娘は小学校から中学、高校、そして現在は大学3年です。その分、父親である私は衰えている訳で、白髪が似合うと言わレショックを受けることがあります。それでも慣れたままであります。

しかし、もっと気がかりなのは毎日のように「大人」が謝罪する報道の多さです。あんな大人に子どもが魅力を感じるはずがない。「早く大人になりたい」と思われる魅力的な大人社会が必要だ、と思いませんか。

大学も日々成長し、頼もしい学生が増えてきました。魅力的な大人社会を作るためにも魅力的な卒業生をこれからも育てていきたいと思っています。



短期大学部 総合生活学科 教授  
永田 志津子先生

教育とは生きる力を養うこと

30年以上の教員生活を通して、確信できた教育の本質とは次のようなものです。「今何をどうすべきか」を教えることより、思慮深く物事を考え確かな人生を歩む力を養うこと。学生は、良い意味でも逆の意味においても、無意識に教師を生きるモデルにします。私自身の経験からも、授業での一つひとつ言葉よりも、恩師の私たち学生に接する姿勢そのものが教えとして深く心に残っています。受けた教育の効果は生活の様々な場面で支えとなって表れ、影響力の強さを実感するとともにいつも身が引き締まる思いがしています。

学生の皆さん、20年後、30年後に良い教育を受けたと感じてもらえるように「誠実であり、眞実であり、そして真理を教えること」を心がけ今日も授業を続けています。時には思い出してくださいと語ってくれました。



キャンバス内を歩いていると、学生達に「熊さん！」と声をかけられる熊坂さん。趣味の写真の腕前はプロ並みで、学内の四季折々の風景をカメラにおさめています。

「私はこの大学にお世話になって今年で13年、今は施設管理を担当しています。以前は付属幼稚園で送迎バスの運転手をしていた事もあり、その当時に園児としてバスに乗っていた子が、大学生になつて入学してくるようになりました。ご両親共々私の事を覚えてください本当にうれしかったです。卒業生のみなさんには、これからも健康を第一に考え、元気に頑張っていただきたいですね。」と語ってくれました。



小学校で子ども達と接するときに大切にしているのが学生時代に平野先生がおっしゃっていた「子どもの目線に立って、子どもの事を考えて」という言葉。そしてもう一つ、苦手だったピアノのことで「アーチェリー(部活)と同じくらい一生懸命ピアノも練習して」という先生からの言葉も職場で音楽の授業があるたびに思い出します(笑)。今、学校教育の現場は大変なこともありますですが、そんな状況だからこそ求められるのは「若い感性」。そのためにも札幌国際大学からは、たくさんの若い力を教育の現場に送り出してほしいですね。